

骨太の方針2016

関東の水源は今冬の降雪量が少なかった影響もあり、ダム貯水量が50%以下となっていることから、夏場の水不足が今から心配されています。関東甲信地方は6月5日に梅雨入りしましたが、これまでのところ降水量はそれほど多くなく、今後の天候が気になるところです。

さて、第190回通常国会は6月1日、150日間の会期を終え閉会しました。安倍首相は閉会後の記者会見で消費税率の10%への引き上げを2019年10月までの30ヶ月延期することを正式に表明し、社会福祉の充実にはアベノミクスの果実も活用し、2020年の財政健全化目標は堅持することも明らかにしました。

先月末に予定していた「経済財政運営と改革の基本方針2016」いわゆる骨太の方針2016の決定は、消費税率引き上げ延期を受けて内容の一部見直しを行い、6月2日の臨時閣議を経て公表されました。今回の骨太の方針では現下の経済情勢について、アベノミクスの取り組みにより企業収益は過去最高水準となり就業者数は増加し、3年連続でベースアップの流れも広がりつつあるなど雇用・所得環境は大きく改善しているものの、中国の成長鈍化や石油などの資源価格低下により世界経済の不透明感が増していることもあって、国内経済は個人消費や設備投資に力強さを欠いており、アベノミクス第2ステージのもとで、経済・財政一体改革を推進していく必要があるとしています。また、昨年度の骨太の方針で決定した、2020年度のプライマリーバランスの黒字化の実現と2018年度までの3年間を集中改革期間として取り組みを進める「経済・財政再生計画」を着実に実施するとともに、経済・財政再生アクションプログラムに沿ってワイズスペンディングを強化することなども明記されています。

社会保障については、国民皆保険・皆年金を維持し次世代に引き渡すことを目指し、「経済・財政再生計画」に掲げられた医療・介護提供体制の適正化、負担能力に応じた公平な負担、給付の適正化、薬価・調剤等の診療報酬及び医薬品等に係る改革等に係る改革項目について、改革工程表に沿って着実に改革を実行していくとしています。

消費税率引き上げ延期に関して安倍首相は、国民生活に大きな影響を与える税制に関して、これまでとは異なる“新しい判断”をしたことについて、国政選挙である7月の参議院選挙で国民の信を問うとしました。医療や介護、福祉などの社会保障を充実して、安心して暮らせる社会を築くため、これからの戦いに全力で取り組んで参りたいと思います。